

深化。』

高田町立第一中学校 校長 元 木 慶次郎

○「実践化を図る道徳指導の研究」

いわき市立小名浜第二中学校 校長 志 賀 伝 一

2. 生徒指導

〔義務教育課〕

生徒指導は、学習指導とならぶ重要な教育の機能であることを理解し、豊かな人間性の育成をめざし、ひとりひとりの児童・生徒に対し、個性の伸長を図るための具体的な指導措置をとるよう指導した。

- 生徒指導についての共通理解を深める。
- 生徒指導計画を、実践しやすいように改善する。
- 生徒理解をいっそう深める。
- 教育相談を計画的にすすめる。
- 学業指導の充実を図る。
- 進路指導の充実を図る。

以上の重点事項を促進するため、次の事業を実施し、その効果を高めるよう努力した。

(1) 生徒指導委員の設置

各教育事務所の生徒に関する指導活動を援助し、管内小・中学校における生徒指導の改善・充実を図るため、生徒指導委員17名を委嘱した。

管内	地区	勤務校	職名	氏 名
県北	信 夫	西 信 中	教諭	黒 須 四 郎
	伊 達	保 原 中	〃	佐 藤 政 昭
	安 達	小 浜 中	〃	小 野 進
県中	郡 山	郡 山 四 中	〃	中 目 公 男
	岩 瀬	長 沼 中	教頭	小 林 豊 司
	石 川	石 川 中	教諭	佐 藤 正
	田 村	三 春 小	教頭	飛 田 昭 栄
県南	西白河	五 箇 小	教頭	野 口 五 郎
	東白川	棚 倉 中	教諭	赤 坂 重 雄
会津	北会津	若 松 三 中	〃	長谷川 修 二
	耶 麻	会 北 中	〃	羽曾部 実
	両 沼	坂 下 二 中	〃	田 部 良 宣
南	会 津	田 島 中	〃	木 下 宇 平
相双	相 馬	中 村 一 中	〃	今 野 武
	双 葉	富 岡 一 中	〃	山 田 広
い わ き		平 一 中	〃	鈴 木 知
		小名浜一 中	〃	村 田 和 夫

(2) 文部省指定生徒指導研究推進校の研究と実践

文部省指定による生徒指導研究推進校は、それぞれ意欲的な研究にとりくみ、すぐれた実績を取めた。

① 石川町立石川中学校

- 指定 昭和46年度から（県指定を兼ねる。）
- 研究主題 自己理解を深め、自律的な生活態度をめざす生徒指導
- 学級の指導を基盤として ——

② 保原町立保原中学校

- 指定 昭和47年度から
- 研究主題 ひとりひとりの自主性を育てる生徒指導

(3) 県指定生徒指導研究学校の研究と実践

生徒指導充実強化のため、次の中学校を指定し、研究成果を他校に拡大することによって、多大の成果を取めた。

① 石川町立石川中学校

- 指定 昭和46年度から（文部省指定を兼ねる。）
- 研究主題 自己理解を深め、自律的な生活態度をめざす生徒指導

② 福島市立西信中学校

- 指定 昭和47年度から
- 研究主題 意欲を育てる学業指導

(4) 生徒指導委員連絡協議会の開催

当面する生徒指導上の諸問題について研究協議を行なうとともに、生徒指導委員の研修を深め、共通理解にたった県内の生徒指導をすすめるため開催した。

- ① 期 日 昭和47年 8月22日～23日
- ② 会 場 あづま荘
- ③ 対 象 生徒指導委員17名

〔高等学校教育課〕

生徒指導は、学習指導とならぶ重要な教育機能であることを理解し、生徒の社会的自己実現を図ることを援助するため、ひとりひとりの個性に即して具体的な指導をするように指導した。

特に次の事項を重点とした。

- 生徒指導の意義や性格をとらえるための共通理解。
- 生徒指導の本質に添った運営組織機構のくふう。
- 生徒指導の全体計画や部門別計画の整備。
- 集団指導の充実。
- 個別指導の徹底。

なお、生徒の政治的活動については、43教高昭和43年12月13日付教育長通達、44教高第 180号昭和44年12月1日付教育長通達による厳正な指導の充実を期した。

(1) 生徒指導主事活動

県内6地区に各1名設置された生徒指導主事によって、高等学校における生徒指導の充実と適正化を推進した。

生徒指導主事の服務については、福島県教育委員会訓令第6号によって定められているが、その具体的活動のおもものは次のとおりである。

- ① 地区内高等学校の訪問指導（計画、随時）
- ② 生徒指導研究学校の指導
- ③ 地区内高等学校生活指導協議会に対する援助
- ④ 関係機関・団体との連携
- ⑤ 生徒指導関係資料の提供
- ⑥ 生徒指導主事の相互連携

その他、生徒指導主事が参加するものとしては、「高校生へのつどい」、PTA保護委員会、生徒指導講座、生徒指導担当者研究協議会、新採用教員研修会、小・中学校からの要請による研修会などがある。